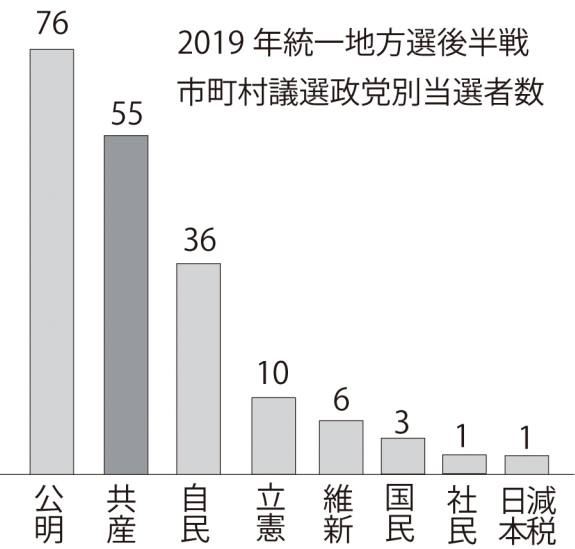


統一地方選挙後半戦—市町村議選



当選を喜ぶ候補者ら。上は前列右2人目から鈴木みさ子、斎藤ひろむ、中西みつえ豊橋市議候補、中は右から石田ひろのぶ、伊藤けんじ、宮地ゆたか、原田ゆうじ春日井市議候補、下は前列右2人目から浅井ことみ、原田学、新井あゆみ瀬戸市議候補。21日、深夜



女性、若者
日本共産党の当選者の45%にあたる25人が女性候補。社会福祉士、介護支援専門員、学校教員、保育士、派遣社員、フィナンシャルプランナーなど多彩な資格や職歴の持ち主です。男女あわせて6人の

21日投開票の統一地方選挙後半戦で愛知の日本共産党は、市議選39、町村議選16の計55議席を獲得しました。60議席を得た前回には及ばなかったものの、改選54議席を維持しました。同党愛知県委員会は「今後の前進・躍進にむけた足がかりを築くものになった」と見ています。

共産党 55議席 前進への足がかり

4市町で議席増
共産党は、くらし・福祉最優先の市町村政の実現、安倍政治へのノーの審判を訴え、有権者の共感と期待を広げました。
瀬戸市、日進市、武豊町、大口町で議席を増やし、瀬戸市と日進市では、共産党議員団

占有率最高
共産党の尾張中部と東三河の両地区では立候補者全員が当選しました。
尾張中部地区は、春日井市議選で、県議選出馬の現職に代わった

激戦突破
東三河地区でも全候補が当選しました。前間部の東栄町で、12年ぶりに党議席を獲得。設楽町は現職が無投票で当選しました。
豊川、蒲郡の各市議選でも現職が勝利。山

30代候補全員が当選しました。
町村第1党
後半戦の市町村議選の政党別当選者数は、公明党76、共産党55、自民党36、立憲民主党10。うち町村議選の当選者は、共産16、公明12、立民3。町村議会では非改選をあわせて共産党が第1党です。
参院選へ
後半戦のさなか、安倍政権の忖度政治や大臣暴言に国民の怒りが高まり、自民党幹部から消費増税見送り論が出るなど、政権与党は守勢に回りました。
共産党の井上さとし参院議員(比例候補)、すやま初美参院愛知選挙区候補は、統一地方選挙での奮闘を發展させ、参院選に向け攻勢的な活動をすすめています。